

定期巡回・隨時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表

令和6年度(令和7年3月27日評価)

24時間在宅ケアステーション敬寿園

介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	○			情報共有しながら、専門性が発揮できる役割分担に努めている。	今後も継続してください。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○			ICTの活用や、電話連絡、申し送りノートを利用し看護からの指示をケアに反映させている。	今後も継続してください。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有							
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○			説明は利用開始前に説明し、場合によっては契約の前に定期巡回サービスについて訪問し説明している。	サービスが開始されて間もないでの、説明には十分に配慮をお願いします。
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○			利用者の方に計画作成後説明し、計画後も利用について伺っている。	適切に行われている。
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○			ICTを活用し、タイムリーに情報共有し、連絡を受けている。	家族への報告はICTを利用して適切に報告が行われている。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント							
(1) 共同ケアマネジメントの実践							
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○			ICTを活用し、タイムリーにケアの時間、サービスの確認をして頂いている。	適切に報告がされている。
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	○			自立支援につながるよう、利用者ケアマネジャーと相談している。	適切に報告がされている。
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○			サービス担当者会議において、定期巡回の様子等の報告を行い、ICTを利用しながら、日々の様子を情報共有している。	適切に報告がされている。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献							
利用者等の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)		○		意見交換をしながら、包括的にサポートできるような視点で話し合うように努めている。	ケアマネジャーと連携し適切にサービス提供されている。
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	○			退院前のカンファレンスでは積極的に参加し、在宅でも継続して生活できるように努めている。	ケアマネジャーと連携し適切にサービス提供されている。
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	○			サービス担当者会議において、ICTを利用しながら、情報共有、役割分担について共有している。	ケアマネジャーと連携し適切にサービス提供されている。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○		会議録は一部の方のみになっており、ホームページ等の利用をしていく。	ホームページの掲載は適宜行うように続けてください。
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	○			介護フォーラムやHP連携室連絡会に参加し定期巡回への理解を深める活動を行っている。	今後も、積極的に取り組んでください。
(2) まちづくりへの参画							
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○		行政の方針等は一定の理解をしている。	今後も情報の確認を行ってください。
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○			山形市内地域へサービスを提供している。	山形市内可能な限りサービスを提供してください。
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)	○			ケアマネジャーと連携しながら、地域の交番への情報提供や公共交通機関も利用しながら、自立支援に向けた支援を提供している。	サービスが開始されて間もないですが、ネットワークの構築をより一層深めてください。
III 結果評価 (Outcome)							
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○			目標達成に繋がっている。	継続して行ってください。
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○		24時間つながるサービスと感じて頂いている。	継続して行ってください。